



特定非営利活動法人 世界の砂漠を緑で包む会

団体の概要

1998年設立2003年NPO法人化。自力再生という考え方に基づき、ゴビ砂漠の中国内モンゴル自治区アラ善(アラシャン)地域において砂漠緑化、環境教育と国際交流をテーマとする砂漠化防止事業を始めとして中国内陸部の砂漠化防止に長期間注力。これら活動を乱開発で森林面積の多くが失われたエチオピアの里山復元にまで広げつつある。国内では県森林公園津幡園地での生物多様性復元事業を展開している。

森林保全活動の内容

森林の場所: 石川県河北郡津幡町字能瀬・県森林公園

樹種区分: 杉、クルミ、その他広葉樹

林齢: 杉(50~60年)、クルミ(40年)、その他広葉樹(3~6年)

面積: 6ha

実施項目: 下刈り、枝打ち、除伐、間伐、植栽

実施時期: 4月から12月

CO2吸収認証量: 1.6t

県との協定に基づき、2011年7月から県の森林公園津幡園地内の管理地にある荒廃放置されていた里山で、毎年下刈りや除伐・間伐を繰り返しながら暫時オニクルミの森や桜園といった広葉樹の森、生育する小動物の餌になる木の実を産するクヌギ・コナラ等の植栽地を整備する。一方で、耕作放棄地の水路跡を利用した観察池を造成し、周辺の生物多様性環境を復元目前までにすることができている。生きた森の再生を目指している。2016年3月に県との協定を更新し、生物多様性復元を完成し、生きた森に全面再生させる計画である。

森林保全活動の写真

1) 下草刈り、植栽(県森林公園)

下草刈り前



下草刈り作業



広葉樹林植栽
(下草刈り後)



2)間伐(県森林公園)

間伐前



間伐作業



間伐後



本制度へのコメント

当会森林活動を継続するので本制度も継続してほしい。

特定非営利活動法人世界の砂漠を緑で包む会

会長 大澤 俊夫

〒921-8173

石川県金沢市円光寺1-14-3

電話:076-242-4708

ホームページ:<http://www8.plala.or.jp/tutumkai/about.articles.html>